

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 22.4.6 第 174 回国会第 3 号

4 月 6 日（火）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・岡田外務大臣、北澤防衛大臣、松野内閣官房副長官、武正外務副大臣、榛葉防衛副大臣、楠田防衛大臣政務官、長島防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

中 谷 元君（自民）

- ・普天間飛行場移設問題に関して、鳩山総理大臣が 3 月 31 日の国家基本政策委員会合同審査会（党首討論）で言及した移設候補地の「腹案」の内容について、岡田外務大臣及び北澤防衛大臣は、どのようなものであると認識しているのか、伺いたい。
- ・岡田外務大臣が、3 月末に G 8 外相会合出席のため訪問した米国及びカナダにおいて会談したゲーツ米国防長官及びクリントン米国務長官に対し、普天間飛行場移設問題に関する鳩山総理大臣の腹案の内容及び日米で合意した現行案の実現が困難である旨について説明したか否かについて、伺いたい。
- ・核搭載米軍艦船の我が国港湾への寄港を「広義の密約」としたいいわゆる「密約」問題に関する調査結果を公表した以上、我が国周辺の安全保障環境が核による抑止を必要としている現状を踏まえ、核搭載艦船の我が国港湾への寄港及び海峡通過について、非核三原則との関係で、現政権において米側と協議する必要があると考えるが、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

岩 屋 毅君（自民）

- ・いわゆる「密約」問題に関する調査結果の公表を受け、緊急事態における核の持ち込みについては、岡田外務大臣はその時の政権が決断すべきとの見解を表明したが、北澤防衛大臣はどのように考えているのか、伺いたい。
- ・北澤防衛大臣は、自衛隊救難飛行艇「US 2」の民間転用の可能性について言及したが、この発言は、武器輸出三原則見直しの検討を始めることを表明したものと理解していいのか、伺いたい。
- ・普天間飛行場移設問題に関し、日米が合意した現行案は、未だ実現性が高く、今後も選択肢の一つとして残しておくべきと考えるが、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

福 井 照君（自民）

- ・本年 3 月 26 日に発生した韓国の哨戒艇沈没事案において、我が国は政府全体としてどのような対応を行ったのか。
- ・1991 年の湾岸戦争の際、沖縄からも米海兵隊が出撃したとの米軍関係者の発言があるが、その事実関係について、防衛省は把握しているのか。
- ・防衛省における防諜体制の整備状況について、北澤防衛大臣に御説明願いたい。

佐 藤 茂 樹君（公明）

- ・3 月 23 日の参議院予算委員会において、鳩山総理大臣は普天間飛行場移設後も同飛行場を有事の際に活用する可能性について言及したが、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・ゲーツ米国防長官は本年 3 月 29 日の岡田外務大臣との会談において、運用面や政治面で持続可能な駐留を期待すると発言したとされるが、右事実関係及びこの発言の趣旨に対する岡田外務大臣及び北澤防衛大臣の所見を伺いたい。
- ・民主党は野党時代に海賊対処法案に反対したにもかかわらず、政権交代後も自衛隊によるソマリア沖・アデン湾の海賊対処を継続させているが、その理由は何か。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・2002 年 7 月に横須賀市内で発生した米兵による放火事件において、発生から 8 年近く経過するにもかかわらず被害者への補償が行われていないことについて、防衛省の認識を伺いたい。
- ・本年 3 月 16 日に沖縄県で発生した米兵によるひき逃げ事案において、沖縄県警と米軍憲兵隊の両者が現場にいたにもかかわらず、県警側が事情聴取を行わなかったことは、1953 年の刑事裁判管轄権に関する日米合同委員会の合意に照らして妥当であったのか、警察庁の見解を伺いたい。
- ・岡田外務大臣は日米地位協定の見直しについて言及しているが、刑事裁判管轄権行使の放棄に関する「日米密約」

の有無等を含め、これまでの経緯について検証を行う必要があるのではないか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。

中野 謙君（民主）

- ・弾道ミサイル等破壊措置を自衛隊法に盛り込むための2005年の同法改正案について、当時野党であった民主党は反対したが、その理由について、榛葉防衛副大臣に伺いたい。
- ・海賊対処法案の審議の際、自衛隊の活動に対する国会承認の必要性の有無について、長島防衛大臣政務官は、武器使用の可能性が高いかどうかや国民の主権が制限されるかどうか等を基準として示したが、現在はどのような考えを持っているのか伺いたい。
- ・弾道ミサイル等破壊措置によって破壊されたミサイル等の破片によって発生した我が国国民の被害については、発射国に国家賠償を求めるのが筋であるが、国交のない北朝鮮がこれに応ずる可能性はないと考えられ、国として補償する必要が生じる可能性があるが、防衛省としての考えを伺いたい。

玉城 デニー君（民主）

- ・米国防省が本年2月に公表した「4年毎の国防計画見直し」(QDR)において言及されている「拡大抑止」について、外務省及び防衛省はどのような認識を有しているのか伺いたい。
- ・米太平洋海兵隊のスタルダール司令官が、在沖海兵隊の最重要任務は北朝鮮崩壊の際の核兵器除去であると述べていると報道されている(2010年4月1日毎日新聞)ことについて、防衛省の見解を伺いたい。
- ・中国の軍事力増強と太平洋地域における米軍のグアムの拠点化等は、現在見直し作業が進められている我が国の次期防衛計画の大綱にどのように反映されることとなるのか、防衛省に伺いたい。

高橋 昭一君（民主）

- ・先般のペルーにおける大地震による津波のように、予め災害に発展しそうな状況がある場合に、自衛隊の災害派

遣に関する意思決定手続はどのようになされることとなるのか、伺いたい。

- ・英国においてはイラク戦争の正当性について、検証が行われているが、我が国においても、我が国がイラク戦争を支持したことについての総括をする必要があるのではないのか、岡田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・在外公館に派遣されている防衛駐在官の存在は、安全保障に関する情報収集に有益と考えているが、外務省の防衛駐在官の位置付けについての認識と現在の人員数について、伺いたい。

照屋 寛徳君（社民）

- ・3月29日の記者会見において、平野官房長官が鳥島射爆撃場及び久米島射爆撃場等の返還を米国に求める方針である旨表明したが、岡田外務大臣は本件返還交渉を米側と始めるつもりがあるのか伺いたい。
- ・鳥島射爆撃場等の返還が普天間飛行場の県内移設のパートナー（交換材料）にされるのではないのかとの懸念を持つ沖縄県民がいるが、この懸念に対する北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・3月16日に発生した名護市辺野古における米軍関係者によるひき逃げ事案の被害者に対し、我が国政府が緊急見舞金を支払った事実の有無及びその法的根拠を防衛省に伺いたい。

下地 幹郎君（国民）

- ・普天間飛行場移設問題を議論するに当たって、しばしば言及される抑止力の定義について、岡田外務大臣の考えを伺いたい。
- ・在沖縄海兵隊の訓練の本土移転について、これまで以上に訓練場所及び回数を増加させることが抑止力の強化につながると考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・政府は、我が国に必要な抑止力を整理し、海兵隊をはじめとする在日米軍の構成・在り方や自衛隊の配置・役割についての構想を持って、米側と普天間飛行場移設問題を議論すべきと考えるが、北澤防衛大臣の見解を伺いたい。

2 防衛省設置法及び自衛隊法の一部を改正する法律案（内閣提出第26号）

- ・北澤防衛大臣から提案理由の説明を聴取しました。